

第 1 回 国際バルク戦略港湾検討委員会  
議事概要

日時：平成 21 年 12 月 15 日（火） 11：45～13：00

場所：中央合同庁舎 3 号館 8 階国際会議室

○冒頭、黒田勝彦委員が座長に選出された。

○神田正美委員、柴田明夫委員より、資源・エネルギー・穀物等国際バルク貨物を巡る問題意識についてプレゼンテーションをしていただいた。

○各委員からは、下記のような意見があった。

- ・バルク港湾政策については、産業の競争力を強化するための港湾の機能強化という視点で議論すべきではないか。
- ・原材料の輸入のみならず、製品の消費やその輸出等、サプライチェーン全体のこととも考慮すべきではないか。
- ・産業の視点が重要で高度成長期に作られたインフラについて、老朽化や耐震化が不十分であることへの留意も必要ではないか。

○我が国および世界の需要動向、輸送船舶の大型化動向、港湾インフラの現状等を総合的に勘案し、今後、本委員会で検討を行っていくべき品目を、穀物（とうもろこし、大豆）、鉄鉱石、石炭とすることで概ね合意した。

○次回以降、バルク貨物の実際の輸入者である荷主企業から、直接ご意見を聞くことになった。

以上